

エスカップ主催

「人口移動と居住に関する専門家会議」

標記の会議 (Expert Group Meeting on Migration and Human Settlements) は、1977年6月7日～13日、バンコックのエスカップ会議室で開催された。この会議の目的は、エスカップ各国の社会経済開発計画のなかに人口移動と居住（都市および農村における）に関する問題をどの様に織り込んで行くかを考えようと言うもので、主催者側は、域内の人口移動の現状の把握、人口移動と都市への過大な人口集中から生ずる諸問題を解決するための新しい考え方とそれにもとづく行動を提起すること、人口移動や都市化の開発計画との関係についての比較研究計画を作ること、世界居住者会議（1976）の勧告に対するエスカップ地域での対応の仕方を検討すること、等を具体的な討論の内容として用意した。

此の会議が開かれるに至った背景には、丁度10年前の1967年、当時のエスカップで人口移動と都市化に関する会議が開かれ、それ以降、人口移動の研究と人口移動に関する資料の収集に関しては相当の進展がみられたもののいまだ十分ではなく、その上、農村から都市への大量の人口移動によって、（特に）各国の首都の都市環境が概度に悪化しつつあること、ならびに、1974年の世界人口会議で、（人口）政策で人口の量とその増加という側面だけでなく人口分布という側面も重視しなければならないことが強調された事、1976年の居住会議の重要な勧告の一つに人口分布に関する項目が含まれていること、などがある。

出席者は、人口移動ならびに都市あるいは都市計画に関する研究者が主で、エスカップ地域内の各国から17名、その他ILO、FAO、国連本部などから9名、総勢26名、ならびにオブザーバーとしてタマサト大学その他の在バンコック研究機関から数名の出席があった。なお出席者には、人口移動の研究で名を知られる世銀のK. C. ザカリア（インド人）も含まれている。

会議はつぎの5つのセッションに従って進められた。すなわち、

1. Assessment of studies on migration and related issues particularly relating countries of the ESCAP region.
2. Designe of the comparative study of the relationships of migration and urbanization to development.
3. Proposal for new ideas and activities which ESCAP should undertake to assist countries.
4. Regional follow-up action by ESCAP of the United Nations Conference on Human Settlements.
5. International migration.

以上のセッションにおいて総計17の報告が行なわれ、それにもとづいて討論が進められたが、そのなかで特に注目される点のみふれると、第1、第2のセッションでエスカップ地域内での人口移動と都市化に関する研究についてのレビュー、ASEAN、ILO等の人口移動調査が紹介され、1970年代の各国センサスの前住地に関する項目の集計の早急な遂行とその集計結果を含む各種の資料を利用した一層の分析が進められなければならない事、さらにその分析結果をふまえた（地域的な）比較研究が進められるべき事が確認された。また第2、第3のセッションで、ジャカルタにおける人口集中とその対策、日本における地域開発計画と人口移動との関係（筆者が報告、Population distribution and development planning in Japan）、スリランカの例の報告がなされ、都市への人口集中の社会経済要因の一層の研究が進められなければ、人口の再分布に関する政策が success story につながらないこと、その場合にスリランカが一つのモデルとなるであろうという点が話し合われたことなどである。

（河邊 宏記）